

ご案内  
報道関係各位

2017年2月17日  
株式会社KADOKAWA

## ASCIIが贈る IoT／ハードウェアのスペシャルイベント

# IoT&H/W BIZ DAY 3 by ASCII STARTUP



## 2017年3月21日（火）開催！

株式会社KADOKAWA(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:松原真樹)アスキー・メディアワークスでは、スタートアップ・ベンチャーに関わる情報を提供する「ASCII STARTUP」企画を、IT情報総合サイト「ASCII.jp」(<http://ascii.jp/>)およびウェブ版「週刊アスキー」(<http://weekly.ascii.jp/>)にて掲載しております。IoT(Internet of Things、モノのインターネット)やハードウェア関連のプロダクトに関するスタートアップ企業と、ともに事業を検討したい企業のための展示・交流イベント「IoT&H/W BIZ DAY 3 by ASCII STARTUP」を、3月21日(火)、東京・飯田橋のベルサール飯田橋ファーストにて開催いたします。

本イベントでは、識者によるビジネスカンファレンスと、IoT／ハードウェアスタートアップ企業による展示、実機デモ、物販などの実施を予定しており、IoT／ハードウェアの最前線を体験いただけます。2016年3月の第1回開催時には約400名、8月の第2回開催では約800名の皆さまにご来場いただきました。イベントの実施により、多くのビジネスマッチング、クラウドファンディングの実績上昇などの成果が得られるなど、IoT／ハードウェアのスタートアップ関係者が一堂に会する場として、多くのお客様や出展企業の好評を受け、第3弾となる本イベントの開催が決定いたしました。

3回目となる今回は会場規模を拡大、展示ブースも拡充し2月17日時点で23社の出展が決定しております。イベント当日は、カンファレンスとともに国内スタートアップ企業のIoT／ハードウェア製品やサービスに直接触れ、開発者と交流することでその熱意や勢いを体感いただけます。

ビジネスとして、ものづくり・IoT・ハードウェアスタートアップに関わる企業関係者、企業内の新規事業担当者、投資部門担当者、ハードウェアスタートアップ関係者、起業を考えている方、IoT・ハードウェア・オープンイノベーションに興味のあるビジネスマン・エンジニア・ASCIIファンの皆さまのご参加をお待ちしております。

イベントの詳細情報は、ITニュースサイト「ASCII.jp」内【スタートアップ】ページ(<http://ascii.jp/startup/>)、および、ウェブ版「週刊アスキー」内【スタートアップ】ページ(<http://weekly.ascii.jp/sp/startup/>)にて掲載・更新してまいります。スペシャルイベント「IoT&H/W BIZ DAY 3 by ASCII STARTUP」に引き続きご注目ください。

## ■ 「IoT&H/W BIZ DAY 3 by ASCII STARTUP」 概要

【イベント名称】 IoT&H/W BIZ DAY 3 by ASCII STARTUP

【開催日時】 2017年3月21日（火） 11：30～18：00（予定）

【開催場所】 ベルサール飯田橋ファースト

（東京都文京区後楽2-6-1 住友不動産飯田橋ファーストタワーB1）

【参加方法】 カンファレンス / 展示エリア共に事前登録制

【参加申込先】 《EventRegist》 <http://eventregist.com/e/Xg3UiTLIBif3>

《Peatix》 <http://peatix.com/event/235476/view>

【入 場 料】 展示ブース入場チケット（無料）

全カンファレンスフリーパス【数量限定】（4,000円・税込）

【イベント内容】

◆カンファレンス：5セッションを実施予定

<セッションA> オープニングセッション

※詳細内容・登壇者は後日発表いたします。

<セッションB> SAO Future Labコラボ製品発表会

<セッションC> 正式サービス開始直前!! さくらのIoT Platform～さくらのIoTでできること～

<セッションD> ドコモ39階で何が起きているか？

オープンイノベーションで挑むハードウェア創造手法

<セッションE> サウスバイサウスウエストInteractive最速現地レポート

◆展示ブース：ハードウェア/IoTスタートアップ企業による展示、実機デモ、物販など

【主 催】 ASCII STARTUP（株式会社KADOKAWA アスキー・メディアワークス）

【協賛・協力】 39Meister | 39works、ソニーネットワークコミュニケーションズ、  
さくらインターネット

【レジストレーションスポンサー】 イベントレジスト



↑ イベントイメージ

## ■現在決定しているカンファレンスセッションについて

※登壇予定者は2017年2月17日現在のもの、順不同

### ▼カンファレンスセッションB

#### <SAO Future Labコラボ製品発表会>

ASCII×ソードアート・オンライン(SAO)※×ベンチャーのコラボでお届けする、最新テクノロジー関連製品化プロダクトの発表会。共創企画「ASCII STARTUP ACCELERATOR」の1つとして昨年12月より参加ベンチャー募集を行った「SAO Future Lab」では、最先端ハードウェア企業とのスペシャルなコラボ商品をお届け予定です。発表会当日のセッションでは、SAOとコラボを行うプロダクトラインナップのほか、SAO×ベンチャー代表者によるスペシャルトークセッションなどを予定しています。

【登壇者】三木一馬(ストレートエッジ)、「SAO Future Lab」参加ベンチャー企業代表(後日発表予定)、北島幹雄(ASCII STARTUP) ほか

※『ソードアート・オンライン』(SAO)は、文庫レーベル・電撃文庫から刊行されている小説作品で、謎の次世代オンラインゲーム《ソードアート・オンライン》を舞台に繰り広げられる物語です。小説の発行部数は全世界累計1,900万部を突破しており、ハリウッドでは実写テレビドラマ企画も進行しています。TVアニメ化などもされ、2月18日(土)からは『劇場版ソードアート・オンライン -オーディナル・スケール-』も全世界にて公開。世界中にファンを持つメガヒットコンテンツです。

●電撃文庫『ソードアート・オンライン』著/川原 礫 イラスト/abec

### ▼カンファレンスセッションC

#### <正式サービス開始直前!! さくらのIoT Platform~さくらのIoTでできること~>

新機能に加え、通信モジュールやオプション品を拡充し、2017年春いよいよサービスを開始する「さくらのIoT Platform」。サービスの概要を正式発表前にお伝えします。

【登壇者】山口亮介(さくらインターネット株式会社)、江草陽太(さくらインターネット株式会社)、伊藤有(ASCII)

### ▼カンファレンスセッションD

#### <ドコモ39階で何が起きているか? オープンイノベーションで挑むハードウェア創造手法>

ベンチャー企業やパートナー企業と”爆速”で新たなサービスの創造に挑むドコモのスタートアップ支援プログラム「39works」。ドコモブランドでの提供にこだわらず、単なる投資とも事業連携とも異なるスタイルで、ドコモの既存延長線上にないサービスやプロダクトの創造をミッションとしています。その中で産まれた3つのIoTプロダクトの担当者と、IoTインキュベーション支援サービス「39Meister」の代表が、大企業におけるオープンイノベーションの実際やハードウェアの開発現場について語ります。

【登壇者】菊地大輔(株式会社NTTドコモ)、伊澤諒太(株式会社ハタプロ) ほか

### ▼カンファレンスセッションE

#### <サウスバイサウスウエストInteractive最速現地レポート>

2017年3月10日より米国オースティンで開催されるサウスバイサウスウエスト(略称:SXSW)2017よりインタラクティブな最新レポートをお届けするセッションです。正真正銘の最速スピードで、世界中から集まったハードウェア・IoTプロダクトやスタートアップ事業アイデア、さらには技術・トレンド動向などをお届けします。

【登壇者】澤山陽平(500 Startups Japan)、北島幹雄(ASCII STARTUP) ほか

※各プログラムの内容は予定です。都合により変更となる場合がございます。

## ■出展ブースについて

39Meister、ソニーネットワークコミュニケーションズ、アルファテクノロジー、エクストラン、エンタップ、ガラポン、シナノリンク、セールスワン、ソラコム、ノバルス、ハシラス、パリティ・イノベーションズ、ブランディングジャパン、ミラ、ユカイ工学、ゆめみ、Agx、Asterisk、H2L、Kibidango、LeapMind、MAMORIO、Secual

ほか出展予定

## <ご参考>

### ■アスキー・メディアワークスとは

アスキー・メディアワークスは、小説、コミック、ゲーム、ホビー、テクノロジーなど、エンターテインメントやPC/IT分野を中心とした事業を展開。出版を基盤に、ウェブ・モバイル、電子書籍、アプリ、映像、音楽、グッズ、ゲーム、イベントなど、メディアを超えてコンテンツをプロデュースしています。

●KADOKAWAオフィシャルサイト: <http://www.kadokawa.co.jp/>

●アスキー・メディアワークス公式サイト: <http://asciimw.jp/>

以上

【本件に関する報道関係からのお問い合わせ先】

株式会社KADOKAWA  
アスキー・メディアワークス  
<http://asciimw.jp/>